
第 83 回日本公衆衛生学会自由集会（報告）

テーマ：公衆衛生専門管理栄養士（仮称）認定制度の創設と人材育成を考える

令和 6 年（2024 年）10 月 30 日（水）に、標記自由集会をハイブリッドで開催しました。全国各地からたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。



■参加人数：会場 17 人、オンライン 183 人

■内容

1 発表

（1）「国からみた行政管理栄養士の人材育成への期待」

厚生労働省健康・生活衛生局健康課栄養指導室長 塩澤 信良 氏

（2）「新たな栄養課題に対応するための行政管理栄養士の人材育成体制」

新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部（南魚沼保健所） 磯部 澄枝 氏

（3）「統括的な役割が期待される行政管理栄養士の自己評価尺度の開発」

国立保健医療科学院生涯健康研究部・主任研究官 和田 安代 氏

（4）「公衆衛生専門管理栄養士（仮称）認定制度の創設と人材育成」

兵庫県企画部計画課 諸岡 歩 氏

（5）「行政管理栄養士の人材育成と日本公衆衛生学会との連携、

公衆衛生管理栄養士（仮称）認定制度の創設に向けた動きと今後の展開・展望」

大阪公立大学大学院生活科学研究科 教授 由田 克士 氏

2 指定発言

枚方市保健所長（全国保健所長会副会長）白井 千香 氏

<進行・ファシリテーター>大阪公立大学大学院生活科学研究科 教授 由田 克士 氏

兵庫県企画部計画課（日本栄養士会公衆衛生職域担当理事）

諸岡 歩 氏

■感想等まとめ

厚生労働省が実施している厚労科研や予算事業を通じ、行政管理栄養士のスキルセット、マインドセットの向上に向けた取組の成果が行政管理栄養士に活用され、全国の各地域で適切な栄養・食生活が効果的に推進されることへの期待についてお聞きすることができました。

また、地域保健総合推進事業の中から見えてきた課題や展望、厚労科研事業として取り組まれている「統括的な役割を期待される行政管理栄養士の自己評価尺度の開発」についても、最新情報をお聞きできました。様々な部署に配置された行政管理栄養士を統括する役割を担う行政管理栄養士が、適正に評価され、役割を全うし、食環境戦略イニシアチブをはじめ様々な分野で食環境づくりをはじめとする栄養行政を着実に推進し、成果を創出していく礎になることが期待された事業で、行政管理栄養士にとってステップアップとなる研究のお話でした。

現在、新たな創設に向けて検討されている「公衆衛生専門管理栄養士（仮称）認定制度」の最新情報についても学ぶことができました。この制度により「個々人のたゆまぬ成長」を一層強力に後押しし、「組織のたゆまぬ成長」にも繋がり、管理栄養士の仕事の魅力を、住民、多職種にアピールし、ひいては健康寿命の延伸、誰一人取り残さない栄養施策の推進に繋がることを期待されています。オンライン参加者からもチャットで多くの反響をいただき、全国の行政管理栄養士にとって励ましとなる有意義な機会となりました。